

平成30年度(第11回)国土交通大臣賞<循環のみち下水道賞>

広報・教育部門

応募事例名

ふくおかの下水道の魅力発信！

応募団体名)福岡市

福岡市の下水道について、役割や機能、更に魅力を市民の方々に広く知ってもらうため、現場見学会などを通じた「**イマだけ！ココだけ！キミだけ！**」な様々な取り組みを実施しています。

貴重な体験



現場をキャンパスに

工事中の下水道管に子ども達が思いっきりお絵かき



気分は技術者?!



何が見えるかな?



調整池をダンスフロアに



新たな可能性

伝える下水



「いま」の情報をしっかり

現場写真カレンダー



魅せる下水

■PRポイント

下水道は、市民生活に欠かせない施設の割には、「汚い」「臭い」のイメージで敬遠されがちなことに加え、地下施設であることからその存在感はますます低下しています。

そこで、福岡市道路下水道局では、30年以上前から継続して実施している「下水道フェア福岡」をはじめとして、「夏休み下水道たんけん隊」や施工中の現場見学会、SNSの活用など、職員一丸となって「ふくおかの下水道」について、役割や機能、更に魅力を市民の方々に広く知ってもらうための取り組みを進めています。

一度現場見学に来ませんか？

■具体的効果について

取り組みの開始以降、職員の広報に対する意識の向上や、マスコミからの取材の問い合わせや小学校などの教育機関をはじめとした様々な団体からの現場見学の申し込みが多く寄せられるようになりました。

特に、山王雨水調整池を活用したPRについては、ファッション業界関係者、映画業界関係者などに活用して頂き、その関係者がSNSなどによる情報発信を行うことで、更なる下水道の魅力の発信に繋がっています。